

古註の結句をうづむとも義ありと云ふを本文はたうひる書
うづむくうづむくうづむくもやちるがめを鶴とさうくうひ
此方單一或鷹人の云傳へ一羽よち尾つゝ鷹と其のさう
尾とあもをちひのまゝぬきと一れ鷹の上尾を切てられ
尾とぬきとさや

十とせはもぬきとくもえとあし同くもさしはうれむとく一

古註ゆゑ他本可尋見合同もさし可尋とあもども是ハのさ
るる尾しとさし女さのつるぬきと雄さのつるさや野さく十
年もなるとさる鷹なればいと功者ありとさるさ附つゝむ同くま
さるさうれぬきとむとく見附ぬきと鷹の尾とささうれさ